

# 4月の果実の見通し

平成30年3月23日現在

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
いちご類		4,652	やや少ない	4,477	1,082	100%	959	-	-	3月上旬は出荷数量あったが、中旬からは低温や曇天の影響で数量が伸び悩み減少傾向に。21日(お彼岸)には出荷数量は増える予定ではあったが、日照が足りず生育遅が遅れており、4月中旬に向けて各産地とも出荷ピークになると見込まれる。天候が良くなるにつれ、気温が上昇するため、食味より品質重視の収穫になってくる。
メロン類		897	やや少ない	737	914	105%	770	-	-	3月下旬から熊本県産春メロンの出荷が始まるが、年明けからの冷え込みで、生育が前年より1週間程度遅れている。中心品種となる「アンデス」のピークも4月下旬からとなる。近在産地茨城産の「オトメ」も若干遅れ気味で3月末からの販売開始だが、熊本産の増量ペースが鈍いことから、4月中旬頃までは引き合いが強く、堅調な価格推移が見込まれる。全国的にメロンの栽培面積は減少が続いているが、前年に近い入荷量はある見込み。
すいか類		2,053	少ない	2,125	325	97%	303	1	0.04%	3月から入荷はあるが、本年度の出荷数量は低温や曇天により少なく、4月に入っても出荷数量は伸び悩むが、中旬からは生育遅れが回復し大玉・小玉とも出荷量は増えてGWに向けて出荷ピークになると見込まれる。
マンゴー		38	かなり多い	-	4,618	93%	-	-	-	主力の宮崎産は、前年より早めの3月初めから京浜市場での販売開始を予定していたが、冷え込みなどの影響もあって結果的には前年とほぼ同時期の3月19日から大田市場での競売開始となった。しかし、前年と違って増量ペースは速く、3月・4月の出荷量は前年を上回る見込み。早めに数量が増えてくることで3月末には販売しやすい価格に落ち着き、4月中は保ち合いでの推移となろう。早い時期から売り込みやすい価格帯となることで、数量が増えて需要期となる『母の日』に向けての売り込みも活発化。荷動きは良い見込み。